

令和4年度 ひやま観光推進キャンペーン実行委員会の設置について

R4.4. 檜山振興局産業振興部商工労働観光課

1 趣旨

- コロナ禍に加え、国道 229 号線の通行止め等により、地域内外の交流が大幅に減少し、地域経済への影響が拡大する中、その対策として、令和3年度は檜山町村会と檜山振興局との共催事業「ひやまに泊まろうキャンペーン」を実施。
- 今年度は、こうしたオール檜山による広域観光推進の取組をさらにステップアップし、ウィズコロナ下における檜山地域の活性化を図るため、取組の実施主体を新たに設置し、各町と振興局による連携事業を深化させていく。

2 ひやまの観光をみんなで考える会との役割分担

	考える会	実行委員会
位置づけ	全振興局に設置されている「地域観光プラットフォーム」であり、地域の観光関係者が広く参画した情報共有・意見交換を行うことで、地域の観光施策展開・戦略策定に活かすもの。	コロナ禍において、感染対策と経済活動の回復を両立させながら檜山地域の観光・地域間交流を促進させる事業を実施するもの。
設置期間	恒常的（平成 29 年度～）	単年度（令和 4 年度）
役割	情報共有・意見交換	事業実施主体

※「考える会」の運営については、別途「考える会」として検討を行う。

3 組織の概要

- (1) 名称 令和4年度 ひやま観光推進キャンペーン実行委員会
- (2) 設置期間 令和4年（2022年）4月～令和5年（2023）3月
- (3) 構成員 管内7町、管内7観光協会、檜山振興局
- (4) 機能 各町と振興局との連携事業に係る実施主体
- (5) 会長 檜山振興局地域産業担当部長
- (6) 事務局 檜山振興局商工労働観光課
- (7) 事業内容

① 目的

コロナ禍において、感染対策と経済活動の回復を両立させながら檜山地域の観光・地域間交流を促進し、地域経済活性化を図る。

② 総事業費

620万円（振興局 270万円+50万円×7町）

③ 事業案

ア 檜山南部・北部・島をめぐるスタンプラリー

イ 札幌チカホ等における檜山PRイベント

ウ 自然・景観・過疎の強みを活かした新たな魅力発見事業

※詳細な事業内容やスケジュールについてはプロジェクトにおいて更に検討。